

平成27年度 町屋文化センター利用者懇談会 議事録

日 時 平成28年3月25日（金）午後3時30分～午後4時30分

場 所 町屋文化センター3階 第1会議室

出席者名 カルチャー講座関係ご利用者様1名
文化総合講座関係ご利用者様1名
貸出施設ご利用者様2名
読売・日本テレビ文化センター町屋 センター長 高野盛弥
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 事務局長 岡本壽子
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 管理係長 坂入康弘
公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC） 管 理 係 梅田曜子

1. 開会

2. 開会挨拶 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 事務局長 岡本壽子

3. 参加者紹介

4. 趣旨説明 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 管理係長 坂入康弘
ACC 管理係長より、利用者の意見を反映させ、より良い施設運営を行うため利用者懇談会を実施する旨の説明を行った。

5. 懇談

（1）町屋文化センターアンケート調査の結果について

ACC 管理係長より利用者アンケートの集計結果の説明および以下の通りアンケートに寄せられたご意見に対する考え、対応などについて説明を行った。

- ・ 自転車置場が不足しているご意見について
既存のスペースに限りがあるため、以前から課題として上がっていた。そこで、今年2月に自転車置場の区画ラインを引き直し、チェーンを丈夫な素材に交換する等して改善に努めた。それにより、自転車が煩雑に置かれることがなくなり、整理整頓されたことによって、以前よりはスペースにゆとりができたと思う。今後は、施設利用者以外の方々の無断駐輪を防止する張紙等の注意喚起を行うなど、更なるスペース確保に努めていきたい。

- ・ 使用料が割高であるというご意見について
施設の使用料は、区の算定基準に則り、施設維持管理費と利用人数の割合によって定められている。ご理解ご了承ください。
- ・ 施設・附帯設備が古いというご意見について
町屋文化センター自体も設立 27 年経過しており、附帯設備も経年劣化が目立ってきている。大規模な改修は区に要望を出して、毎年計画的に行っており、本年度は、以前から課題となっていた施設の防犯カメラのリニューアルが完了。今後とも順次計画的に施設や設備の改修を行ってまいりたい。
3 年間掛けて交換修繕していた 3 階の会議机については、本年度で無事すべての交換が終了した。また今年度は、付帯設備の畳張替や展示用パネルの交換修繕、さらに LED のスポットライトの一部導入等も行っている。その他の設備や施設内の軽微な修繕については、ご利用頂いている方のご要望を踏まえながら、順次行ってまいりたい。

(2) 一日文化体験フェアの結果について

荒川区文化総合講座やカルチャー講座の講師の皆さまに、ミニステージ 15 講座、体験 25 講座、展示 8 講座、合計で 48 講座に参加をいただいた。その他として、「中村メイコの特別講演会」を事前申込制で開催したところ、定員数 120 名に対して 10 倍の 1200 名の応募があった。また、毎年ご協力を頂いている福島県福島市から「東日本大震災被災地応援」のための物産展や福島県石川町からコシヒカリを提供いただいた。さらに、近隣商店から食事券等の賞品も提供していただき、スタンプラリーやビンゴ大会を行うなど、地域の方にもご協力いただき、来場者数は延べ 900 名となった。

ご来場の皆様からは、「今回初めて参加したが良い経験ができた。来年もまた来たい」「講師の先生方が皆親切だった」「カルチャーのチラシをチェックして受講したいと思う」などのご意見をいただき大変好評だった。そして、講師や受講生からも「日頃の練習の成果を披露でき励みになった」「成果を発表できる機会があり嬉しい」とのご意見をいただいた。引き続き、工夫を凝らしながら継続していきたい。

(3) 意見・要望について

懇談会出席者から以下の通りご意見、ご要望があり、ACC が回答を行った。

貸出施設利用者：会議室のエアコンについて、風が全体に回っておらず、部屋の温度が一定にならない。

ACC 回答：エアコンも老朽化しており、風の向きについて調整変更するのは困難。しかし、鍵のかかっているパッケージ内のパネルで、温度の切替や微調整が出来る。職員が鍵を開けて調整するため、受付

に申し出ていただきたい。

貸出施設利用者：町屋文化センターの建て替え等の予定はあるのか。

A C C 回 答：区が改修計画を立てているが、今のところ町屋文化センターの建て替え予定はない。延命をするために改修予定を立てて進めている途中。

貸出施設利用者：定期的に利用する場合、道具が多いため有料のロッカーがあればとても便利なので検討してほしい。

A C C 回 答：道具を置いておきたいという意見は多数いただいているが、全ての利用者が活用できるようにスペースを確保することは非常に難しい。新しい施設はコインロッカーを設置している場所もあるが、トラブルが多くなるため、守衛が常駐することが求められる。しかしながら、町屋文化センターとしても課題として受け止める。

文化講座講関係：照明やエアコン、自転車置き場の問題、附帯設備についても、引き続き対応いただきたい。

A C C 回 答：引き続き、利用者のご意見を伺い、その都度対応していきたい。

カルチャー関係者：多目的ホールの避難経路がわかりづらい。また、1階の多目的ホールを使用の際、突発の出来事で受付に連絡を取りたい場合、わざわざ2階まであがらなければいけないのが不便。

また、長年お願いしていたトイレ用のスリッパが新しくなってとても良かった。

A C C 回 答：避難経路については、案内の表記がわかりやすくなるように検討する。また、町屋センターの各貸出スペースから受付には、内線電話を使用して連絡できるようになっている。内線電話の使用方法等が、わかりにくい場所に掲示されている等、掲示場所や使用方法の表記を改めて整備したい。

6. 閉会挨拶 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 事務局長 岡本壽子

7. 閉会